

PRESS RELEASE

平成 28 年 5 月 吉日

株式会社 加島美術



比田井南谷 展

N A N K O K U
開 催 の お 知 ら せ

“これは「書」なのか？「絵画」なのか！？”

“「心線作品」「文字を書かない書」の真髄”

株式会社 加島美術（代表取締役：加島林衛）では、「前衛書」の先駆者 比田井南谷展を6月11日（土）～7月2日（土）に東京・京橋の自社ギャラリーで開催いたします。

あまりにも先進的な彼の作品は、時代に解されることなく、やがて埋もれてしまいました。当時既に、書芸術のフィールドとして日本のみならず世界を見据えていた彼は、1950年以降その足場をアメリカに置き、アメリカ抽象表現主義者達との交流を持ち、互いに刺激を与えあいます。

彼が自身の思想を形にせんと行きついたのは、一文字を書かない書一。

それを「心線作品」と呼び、毛筆で表現しきれの限りの未知の造形物を創り出しました。下図から丁寧に構成される毛筆の造形は、まさに絵画的ですが、その原点には約三千年続いてきた書の歴史があります。伝承性や着想を具現化する確固たる技術力、芸術作品に必要な要素を毛筆で表現した作品は、今日の前衛書の想像をはるかに超えています。彼は、終戦後発表した「電のヴァリエーション」の英題を - **Lightning** - としています。中国古典書にあった「電」の一字に惹かれた事は偶然だったとしても、それは先の未来を予知していたかのようです。

近年のグローバルのアートマーケットにおいて、インクアートは高騰している現状があり、日本の前衛書道の評価も上がってきています。このような状況も踏まえ、本展開催に至った次第です。是非、会場にてこの未知なる創造物を体感いただけましたら幸いにございます。

■ 比田井南谷 (1912~1999)

本名漸。1912年、比田井天来、小琴の二男として生まれる。天来歿後は書道研究機関「書学院」を継承して数千冊に及ぶ貴重な碑帖の管理にあたり、同時に書学院出版部を再開して良書の出版と啓蒙に努める。1945年、史上初の前衛書「電のヴァリエーション」を書き翌年発表し、書壇に衝撃をあたえる。東京、ニューヨークなどで個展14回、現代美術展等に招待出品、ニューヨーク近代美術館(MoMA)など著名コレクターが作品買上げ。またプリンストン、オックスフォード等約20の大学で書道史を講演する。

■ パブリックコレクション

- ・国立近代美術館、新潟県立美術館、千葉市美術館
ニューヨーク近代美術館 (MoMA) ほか

【展示会中イベント】

① トークイベント 6月11日(土) 14:00～

秋元 雄史 氏 × 比田井 和子 氏
東京藝術大学美術館館長・教授 天来書院社長
金沢 21 世紀美術館館長

② 実演・体験イベント

「頭に浮かんだ線を描いてみよう！（仮題）」

高橋蒼石氏による南谷愛用の古墨を使用した実演イベント。

実際に筆を使って、書や絵を描いてみるワークショップを開催いたします。

■ 展覧会 基本情報

名称 : NANKOKU 比田井南谷展

会期 : 2016年6月11日(土)～7月2日(土) 会期中無休

オープニングレセプション : 6月10日(金)

トークイベント : 6月11日(土)

会場 : 加島美術

アクセス : 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-3-2

地下鉄銀座線 「京橋駅」 出口3 徒歩1分

地下鉄有楽町線 「銀座一丁目駅」 出口7 徒歩2分

都営浅草線 「宝町駅」 A4 徒歩5分

JR 「東京駅」 八重洲南口 徒歩6分

開廊時間 : 10:00～18:00

観覧料 : 無料

展示点数 : 約30点

※本展覧会展示作品は全て非売品となります。

■ 加島美術について

絵画・掛軸などの日本美術を中心に現代美術まで取り扱っております。また、各地の有名百貨店において展示即売を催す一方、全国の美術館、博物館へも作品を納入しております。日本の中世、近世そして近代の書画及び絵画まで広く一般に紹介し、日本の文化を継承し、その保存にも役立って行きたいと考えております。

【コンテンポラリーアーティストの紹介に関する方針】

日本古美術の美術商として長年培ってきた2つの眼「真美眼」と「審美眼」。時空を超えて複雑に連動する2つの“眼”を活かし、多彩な現代作家を紹介しております。

■ 会社概要

商号 : 株式会社 加島美術
所在地 : 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-3-2
代表者 : 代表取締役 加島林衛
設立 : 1988（昭和63）年9月30日
事業内容 : 美術品販売
 ギャラリー運営
 美術関連イベントの企画開催
 美術関連の総合アドバイザリング
 美術品査定
資本金 : 1,000万円
URL : <http://kashima-arts.co.jp/>



【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 加島美術 担当：太田・澤田
Tel : 03-3276-0700
Mail : 太田 t-oota@kashima-arts.co.jp
 澤田 r-sawada@kashima-arts.co.jp